



韓国とブラジルのテレビで紹介

シルバーeスポーツ



韓国「チャンネルA」の報道番組で女性ニュースキャスターが紹介



集まるのに便利なさいたま市市民活動サポートセンターがメイン会場



ブラジル「TVグローボ」のカルロス・ジル東京特派員も競技に参加

さいたま市発全国展開から 世界展開する福祉政策！

市民団体、NPO法人さいたま市民ネットワーク(森田孝 理事長)が提唱している、世界で初めての高齢者福祉活動である「シルバーeスポーツ」の取り組みが、国内はもとより、海外からも注目を集めています。

6月19日、韓国の代表的な新聞社である「東亜日報」が運営するテレビ局「チャンネルA」のニュース番組で、「認知症を予防するためにeスポーツを活用する日本の高齢者たち」としてシルバーeスポーツが紹介され、東亜日報本紙でも特集記事として掲載されました。

7月18日には、リオデジャネイロに本社を置くブラジル最大のテレビ局「TVグローボ」が、「日本のeスポーツ事情」という特集番組のなかで、さいたま市民ネットワーク提唱のシルバーeスポーツを紹介しました。

同局の人気レポーター、カルロス・ジル東京特派員は、「eスポーツを高齢者福祉に活用する取り組みは、今までになかった全く新しい政策。ブラジルでも導入すべき」とレポートしていました。

行政との協働による福祉政策

eスポーツを活用した「行政との協働」による高齢者福祉政策としてのシルバーeスポーツは、「だれでも、どこでも、いつでも、気軽にできる競技」として、さいたま市での取り組みが「モデルケース」となり、全国・全世界に広がりを見せています。

市民ネットワークの森田孝理事長は「今後、行政・大学・医療・企業との協働を進め、全国組織を編成して、厚生労働省が主催し、スポーツ庁が共催する『ねんりんピック』等での競技種目採用を目指しています。また、シルバーeスポーツに特化したゲームソフトやコントローラーの開発、シルバーeスポーツ活用による認知症予防やリハビリへの有効性を医療現場と検証していきたい」と語っています。



番組はこちらからご視聴ください



KenminKoron

市長あいさつ 令和3年さいたま市議会6月定例会

本市を「進化」と「深化」でシンカ！

■4期目の決意と取組

この4年間、本市を新時代にあふさわしい都市へと前進させる「進化」と本市の魅力や特長をさらに深めていく「深化」の両面で「シンカ」させてまいります。

■都市強靱シンカ

新型コロナウイルス感染症に対して、迅速確実なワクチン接種と感染予防・検査体制の一層の充実。生活困窮世帯に対する支援強化、市民の生命・生活と地域経済を守ることに全力。

広域防災機能を拡充、防災機能を強化、災害時避難施設となる市内小・中・高等学校体育館へのエアコン設置を推進、感染症や自然災害に強い「レジリエントシティ」*1の構築を進めてまいります。

■しあわせシンカ

①子ども・若者のしあわせシンカ
日本一の教育都市の創造に向けて、小学校35人学級を推進、未来(みらくる)先生*2を拡充。

妊娠・出産包括支援センターの拡充や不妊治療支援、多子世帯支援強化、認可保育所・送迎保育ステーションの整備設置、子育て支援型幼稚園や認定こども園を拡充。「選べる子育て環境」の創出。

②女性のしあわせシンカ
女性対象の就労支援や創業支援などの強化、生涯を通じた女性の健康支援の強化。

DV防止や被害者の自立支援、ひとり親家庭への支援を強化。

■高齢者のしあわせシンカ

食・運動・メンタルなどの健康対策を強化、セカンドライフ支援センターの充実、地域包括ケアシステムを強化。介護者等を支える(仮称)さいたま市ケアラー条例を制定、ヤングケアラー*3の早期発見と適切な支援の強化を図ってまいります。

■障害者のしあわせシンカ

障害者の社会参加を促進、企業特例子会社やソーシャルファームなどと連携した障害者雇用の推進やインクルーシブ教育*4システムを推進。市東部地域に総合療育センターを整備。

■医療・健康のシンカ

「スマートウェルネスさいたま」を推進する「さいたま健康ネットワーク」を拡充、小児・周産期医療の充実、救急医療体制の強化、予防・医療・救急体制を拡充。中小企業の健康経営を支援。

■文化芸術による豊かさのシンカ

美術館等文化創造拠点の整備・拡充やアーツカウンスル*5の創設、文化芸術都市を創造。

■安心・安全のシンカ

デジタル技術を積極的に活用、防犯対策を強化。デジタル・公民連携によるネットワークの拡大などにより、市民や事業者とともにつくる、ICTを活用した犯罪・事故のないセーフコミュニティ*6を推進。

■自然環境のシンカ

「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を。生物多様性の確保と美しい水辺環境の保全・再生に向けた取組、地域循環共生圏と環境共生都市づくりを推進。

■暮らしやすさと絆のシンカ

公園空白地域の解消、自治会活動へのICT導入支援、デジタルを活用した地域コミュニティの強化。誰でも移動しやすい公共交通システムを構築、多様なモビリティサービスの充実を推進。

■地域経済のシンカ

デジタル技術やキャッシュレスなどを活用した商店街の活性化や農業交流施設の整備、SDGs認証企業の支援、産業支援策を充実。雇用の維持・確保と就労機会を創出するため、「ワークステーションさいたま」等を活用した就労支援を推進。

■成長シンカの戦略

- ①東日本の中枢都市とデジタル化に対応した東日本の広域経済圏の推進。
- ②ゼロカーボンシティ・スマートシティの推進と、見沼新セントラルパーク(仮称)の推進。
- ③デジタルを活用したスポーツ・健康・医療産業の育成と国際スポーツタウンの構築。
- ④地域文化・資源・デジタルを活用したMICE戦略と、農業・食のデジタル化による産業育成。
- ⑤公民学共創によるグローバル企業の育成とベンチャー育成、中小企業のDXの推進。
- ⑥「デジタルを活用した国際教育文化都市の創造とグローバル人材の育成。

この12年間の成果に自信を持ちつつ、市民の皆様とともに一緒に汗をかいていくことで、市民一人ひとりがしあわせを実感できる「絆」で結ばれたさいたま市、誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市を目指してまいります。

令和3年6月9日 さいたま市議会本会議場

県民公論 第1081号
〒330-0073 浦和区元町1-6-12-101
TEL.048-762-7515 FAX.048-762-7623
さいたま市地方記者クラブ
〒330-9588 さいたま市役所本庁舎2階
kenminkoron@sea.plala.or.jp



清水勇人 市長
コロちゃんのかいせつ
県民公論の
マスコット
コロちゃんが
解説します。

- *1. レジリエントシティ＝
少子高齢化・人口減少や自然災害などの社会的な課題に直面しても、素早く復興・回復し、さらに成長する能力と実力がある都市。
- *2. 未来(みらくる)先生＝
文化芸術スポーツ等の分野においてトップレベルの実績等があり、本市にゆかりのある方(講師)。
- *3. ヤングケアラー＝
家族やきょうだいの介護や世話をする子ども。
- *4. インクルーシブ教育＝
障害のある者と障害のない者が共に学ぶこと。
- *5. アーツカウンスル＝
文化・芸術の環境整備専門家による第三者機関。公的資金を提供する文化・芸術事業を審査・決定。
- *6. セーフコミュニティ＝
WHO(世界保健機関)が推奨する、市民・企業・警察・行政との協働による安心安全都市づくりの国際基準。
さいたま市は、2019年に政令市初の国際認証を受けている。

祝 TOKYO 2020
さいたま市誕生20周年

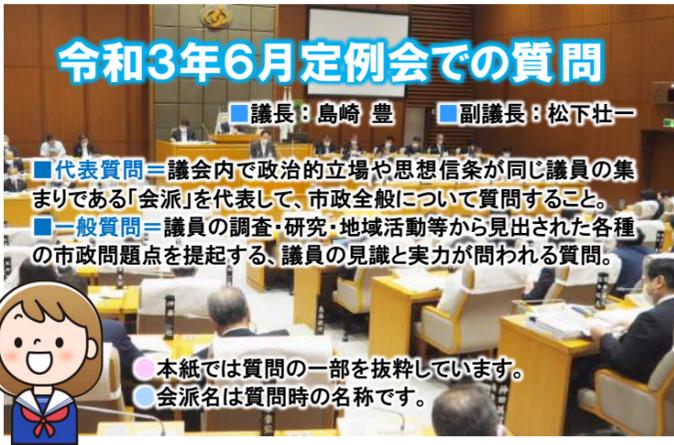
県民公論 電子版

さいたま市民TV

2020 さいたまの白鳥

人は、無機的な「数字」に意義や価値を見出し、「生命」を与えて生活のアクセントとして楽しむ ◆今年、さいたま市誕生20年、記者会見ごとに清水勇人市長に「130万市民が挙げてお祝いできるイベントはできないのか」と質問してきた ◆時あたかもコロナ禍にあって、東京五輪2020大会が1年延期となり、「本市成人の年」と慶事が重なった ◆これで2020と20が連なり、湖に遊ぶ白鳥の優雅な姿が現れた ◆悠々湖上を行く白鳥は、水面下では猛然と水かきを繰り返している ◆苦勞を見せないで努力する白鳥の美德に、学ばせられる ◆2と言えば、市議会議員の任期はあと2年弱 ◆次(2023年)の統一地方選挙は第20回となり、わが国地方議会史の大きな節目となる ◆本市議会議員が時来りて、白鳥のように湖上から悠然空に飛翔されん事を祈るばかりである。(臣)

県民公論社(県民公論・さいたま市民テレビ・さいたま市民新聞・さいたま市民NEWS)



代表質問 2番6月14日
さいたま自民党

宮原インターチェンジ改善

見沼区 **中山欽哉** Nakayama Kinya

Q【中山欽哉】 宮原インターチェンジの形状が複雑なため、自転車や歩行者が道に迷う状況。市はどのような対応を考えているか。
A【副市長】 道迷いによる重大事故や渋滞の発生を未然に防ぐために、案内標識の設置、道路上の路面標示、カラー舗装を導入、自転車利用者が目的地に向かう際のルートを誤らないよう工夫している。市の管理区間に、自転車利用者や歩行者の目線に立って、わかりやすく安全に配慮した対策を検討するとともに、国管理区間についても、本市と一体的に対策をするように国に対して要望する。

代表質問 4番6月14日
公明党

SNS誹謗中傷相談体制

緑区 **神坂達成** Kamisaka Tatsuaki

Q【神坂達成】 インターネット上の誹謗中傷、人権侵害、いじめなど、子どもたちから大人までが相談できる包括的相談窓口が必要。
A【副市長】 本市では、「人権教育及び人権啓発推進さいたま市基本計画」に基づき、冊子等を通じて啓発活動を行っている。
SNSの誹謗中傷に関する相談については、人権擁護委員による人権相談を実施して対応している。
今後、市のホームページ等において、国等の相談窓口の周知に努めるとともに、SNSにおける誹謗中傷への対応について、他の自治体の動向を注視し、幅広く研究する。

代表質問 6番6月15日
自民党市議団

スポーツ行政の課題

緑区 **都築龍太** Tsuzuki Ryuta

Q【都築龍太】 スポーツ協会の現状は、市から期待される役割を担える状況にはない。今後、体制強化に向けた財源確保が必要。
A【副市長】 スポーツ協会は、地域スポーツの課題についての調査・研究や事業の企画・立案、地域スポーツの相談対応、地域スポーツ関連団体の支援、地域スポーツ人材情報の集約及びニーズに合わせた人材活用など、市民に密着した役割を担っているが、その機能を十分発揮するためには、スポーツ振興の拠点となる場の確保や、充実、安定的な運営のための財源の確保が重要と考えるので、今後検討する。

代表質問 1番6月14日
民主改革

友情支援・支持について

緑区 **神崎 功** Kanzaki Isao

Q【神崎功】 今回の市長選挙で初めて、各政党の県連から「友情支援」や「支持」が表明されたことに対する受け止めは。
A【市長】 今回も、各政党に推薦依頼等はない。その中で、同じ方向性を向いている皆さんとは一緒に手を組んでやっていきたいと申し上げてきた。今回もそれぞれ御判断をいただいて、このような対応をとっていただいたものとする。
私たちが出す議案を、すべて可決してもらうことを目的としていない。議論を戦わせながら、より良いものにしていくためお互いに力を合わせて、さいたま市政を前に進めていきたい。

代表質問 3番6月14日
さいたま自民党

北朝鮮による拉致被害

西区 **金井康博** Kanai Yasuhiro

Q【金井康博】 北朝鮮による拉致被害者問題について、コロナ禍にあって取り上げられる機会が減っているが、市長の見解を伺う。
A【副市長】 北朝鮮当局による日本人拉致は、我が国に対する主権侵害であるとともに、重大な人権侵害であると認識する。
本市ではこれまで「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に合わせ、市報に記事を掲載、市役所及び区役所に啓発用立て看板やポスターなどの掲示を行っている。また、国に対し、「拉致問題の早期解決に向けて」の要望をするなどの取組を行っている。今後、本市ホームページの内容の見直しなど更なる啓発に取り組む。

代表質問 5番6月15日
日本共産党

市長の政治姿勢について

緑区 **松村敏夫** Matsumura Toshio

Q【松村敏夫】 本市から東京オリンピック・パラリンピック大会の中止を申し入れるべき。
A【副市長】 実施の可否は、IOCや東京都なので、市として申し上げることではない。
Q【松村敏夫】 給食費を値下げすべき。
A【教育長】 学校給食費の改定は、食材の物価上昇等を踏まえ、給食の質を維持するために実施したものの、学校給食費の値下げについては考えていない。
Q【松村敏夫】 水道料金を値下げすべき。
A【水道事業管理者】 本市水道の安心や安全性を享受していただくため、経営基盤の強化を図りながら、現行料金を維持する。

代表質問 7番6月15日
自民党市議団

地下鉄7号線延伸事業

浦和区 **玉井哲夫** Tamai Tetsuo

Q【玉井哲夫】 地下鉄7号線延伸事業について、この4年間の取り組みについて伺う。
A【副市長】 「浦和美園から若槻地域成長発展プラン」において、「自然と共生し、地域資源を活用したまちの創造」を定めている。
今年度の検討としては、事業化に向けた具体的な区域の設定、土地利用計画案の策定及び事業費の積算等を行い、関係機関協議のベースとなる計画案を作成したいと考える。
令和5年度には、農林調整や国との協議を進め、地下鉄7号線延伸と一体的に、都市計画決定及び事業認可を進める。

一般質問 1番6月15日
無所属

リュックサック登校

南区 **川村 進** Kawamura Jun

Q【川村進】 学校の熱中症対策について、サマータイム、リュックサック登校への対応。
A【副教育長】 コロナ禍という生活環境下で、引き続き熱中症対策を徹底する必要があると考える。昨年度は、市立学校には、水筒の持参や、登下校時における帽子や日傘の使用、また、登下校時や教育活動中の服装も、体育着などを認めることなど、柔軟に対応するよう通知し、各学校で適切に対応。
議員ご提案のリュックサックでの登校につきましても、リュックサックは、ランドセルよりも背中に熱がこもりにくく、暑さ対策には有効なことから、各学校では柔軟に認めてきた。

一般質問 3番6月15日
公明党

桜区役所南側公園予定地

桜区 **西沢鈴子** Seki Hiromi

Q【西沢鈴子】 桜区のまちづくりについて、桜区役所南側の公園予定地に道筋を。
A【都市局長】 本公園予定地は桜区役所、サイデン化学アリーナなどに隣接、大谷場高木線が完成してアクセス性が向上、県営公園の整備は、賑わいの創出、地域の発展に大きく寄与するものとする。
新型コロナ危機により市街地における公園、広場などの緑のオープンスペースの価値が再認識されていることを踏まえ、市民の関心が高まっている本公園の早期整備に向け、今年度から定期的に埼玉県との意見交換の場を設け、積極的に要望する。

一般質問 5番6月16日
さいたま自民党

三室地区の住居表示

緑区 **石関洋臣** Ishizeki Hiroomi

Q【石関洋臣】 三室地区住居表示実施の検討状況について、現在の状況と課題。
A【市民局長】 現在実施している区画整理に伴う町名地番整理を含めた基準における用語の定義、基準に盛り込むべき項目の整理、区画整理に伴う場合と伴わない場合の条件の違い、飛び地解消など、具体的基準案の検討を行っている。
課題は、地域の道路や街区の面整備について、一律の基準での判断が困難。住居表示等の実施地域について、地域の歴史やコミュニティに配慮する必要がある。隣接する地区との面積、人口のバランスを考慮する必要があることなどが挙げられる。

一般質問 7番6月16日
公明党

ゴミ対策について

中央区 **照喜納弘志** Terukina Hiroshi

Q【照喜納弘志】 ごみステーションのカラス対策のため、衛生助成金の増額実施を。
A【環境局長】 ご提案のネットボックス貸し出しについて、調査検討する。ごみステーションの移動や分散化、カラス除けネットの増設といった、個別対応の充実を図る。
Q【照喜納弘志】 ニーズが高まるふれあい収集の拡大や戸別収集のモデル地域選定など、具体的見解を伺う。
A【環境局長】 ご提案のありました、ふれあい収集の対象者の拡充や、戸別収集のモデル地域選定の具体的方策については、実施計画の見直しの中で検証・検討する。

一般質問 2番6月15日
日本共産党

犬と猫の殺処分ゼロに

桜区 **久保美樹** Kubo Miki

Q【久保美樹】 動物愛護行政について、本市で、犬と猫の殺処分をゼロにすると発表できないか。
A【保健福祉課長】 本市では、既に人への危害防止及び動物福祉の観点からの殺処分以外は行っていない。殺処分を行う場合でも慎重な判断を行い、引き続き譲渡につとめる。
Q【久保美樹】 地域猫を推奨し啓発すべきと考える。
A【保健福祉課長】 飼い主のいない猫の対策について、去勢・不妊手術費などの一部助成事業を行っており、地域猫活動の一端としても活用いただいている。今後も、助言、指導を行う。

一般質問 4番6月15日
無所属

なかよし号を自由乗降に

北区 **吉田一郎** Yoshida ichiro

Q【吉田一郎】 なかよし号の4、5月の利用状況。停留所増設か、フリー乗降区間にして自由乗降に。宮原駅に一番近い停留所名が「林時計店」であるが、誰でもわかるように「宮原駅北」等に変えるべき。
A【都市局長】 4月は272人、5月は203人が利用。停留所などは、3自治会長が中心となって構成される地域組織が主体となって、地域ニーズや沿道の道路状況などを把握して、地域の案として決定している。
地域組織の皆様にご意見からのご提案内容を伝える。
*なかよし号＝北区内北部エリアを中心とした経路で運行する、乗合タクシー。

一般質問 6番6月16日
民主改革

ジェンダーギャップ解消を

浦和区 **添野ふみ子** Soeno Fumiko

Q【添野ふみ子】 ジェンダーギャップを埋める組織が課から係相当になった。ジェンダー平等を進めるための位置づけで対応すべき。
A【市民局長】 本市では人権政策と男女共同参画の二部門を一つにまとめ、子どもや高齢者、障害者、外国人などさまざまな人権問題に対し、総合的・効果的に対応している。
「さいたま市男女共同参画推進本部会議」では、新型コロナウイルス感染症により顕在化したジェンダーの課題を情報共有、施策におけるジェンダー平等の重要性について、認識を新たにした。
男女共同参画を進めやすい組織について検討、対応する。

一般質問 8番6月16日
民主改革

神明丸・別所沼公園

南区 **富田かおり** Tomita Kaori

Q【富田かおり】 神明丸公園でボール遊びが可能となるよう現状回復を進めてほしい。
A【都市局長】 区内112公園を現地調査し、利用者の声をお知らせいただきありがとうございます。神明丸公園の原状復帰については、公園利用者、近隣住民、自治会の方々と相談しながら、公園ごとのルール作りを進めるなかで検討する。
Q【富田かおり】 別所沼公園100年に向けて、公民学連携の新たな水質浄化対策を講じてほしい。
A【都市局長】 議員ご指摘の新技術や民間活力の導入、大学との協働により、良質な水質管理を行う必要があると考える。